

過去の災害を振り返る～阪神淡路大震災の火災～

阪神・淡路大震災は、1995年（平成7年）1月17日（火曜日）に発生した兵庫県南部地震により発生した災害をいいます。特に震源に近い神戸市の被害は甚大で、犠牲者は6,434人にも達しました。この地震では火災が約300件発生しましたが、消火のための水が用意できず市民は火災を見続けることとなりました（下記写真参照）。

地震後の火災は消防隊が駆けつけることが極めて困難になります。このような地震火災に対しできる対策は

- ①家の外に避難する時はブレーカーを切る（感震ブレーカーの設置）
- ②ストーブの周りに洗濯物を干さないようにし、家具固定をしてストーブに向かって家具が倒れないようにすることなどがあげられます。過去の災害を振り返り、普段から対策を心掛けるようにしましょう。



※Copyright (c) 1995 大木本美通 様 神戸大学附属図書館 震災文庫

名東区防火管理者協議会 名東消防署